時短エクセル(第54回)

## アンケートを集計してグラフ化する(2)

2022.05.02

前回、Webで収集したアンケートを集計してグラフ化するに当たっての下準備と、並べ替え機能を使った簡単な集計および 円グラフの作成を説明した。今回は、単一選択の集計方法として、関数を使った方法を紹介しよう。

店舗名を書き出して関数でカウントする

前回同様、とあるコーヒーショップのアンケートを例に説明する。件数は分かりやすいように50件とした。

77	イル	<u></u> 担	6入 ページレ	イアウト 数式	データ 校!	聞表示へ	มวี วบร	T PDF 4			
7	9 • 2 <sup>2</sup> •	いって かりゅうボー	لات الله B ~ [] C] ~ B C] ~ C] C] ~ C] ~	איי 1 <u>U</u> - A° A <u>A</u> - A סא>ר		三 三 20 三 三 回 三 ≫ ~ 記題	標準 ▼ 1000 ~ 15 数	~ % <b>?</b> @ s	間 条件付き間 1 テーブルとし 1 セルのスタイ スタ	式 ~  「書式  2定 ~   /ル ~   イル	
M	64	× :	$\times \checkmark f_x$								
	A	В	С	D	E	F	G	н	1	J	
1	性別	年齡	利用店舗	商品							
2	女性	30代	梅田店	コーヒー							
3	男性	50代	吹田店	コーヒー							
4	男性	40代	梅田店	カフェオレ							
5	男性	30代	心斎橋店	ココア							
6	女性	40代	豊中店	その他							
7	男性	40代	道頓堀店	カフェオレ							
8	男性	50代	道頓堀店	紅茶							
9	男性	10代	枚方店	コーヒー							
0	女性	40代	梅田店	コーヒー							
11	女性	10代	梅田店	コーヒー							
12	女性	40代	梅田店	コーヒー							
13	女性	50代	枚方店	カフェオレ							
14	女性	20代	枚方店	紅茶							
15	男性	20代	心斎橋店	紅茶							
16	男性	30代	梅田店	紅茶							
17	女性	60代	豊中店	カフェオレ							
10	ような	Bart	ート結果を	集計・ダラフ	化してい	1					

まずは、表の横に店舗名を書き出そう。横に利用者数を書くので表形式にしておく。



	Α	B	С	D	E	F	G	н	1	J
1	性別	年齡	利用店舗	商品		利用店舗				
2	女性	30代	梅田店	コーヒー		梅田店				
3	男性	50代	吹田店	コーヒー		道頓堀店		1		
4	男性	40代	梅田店	カフェオレ		心斎橋店		1		
5	男性	30代	心斎橋店	ココア	1	吹田店				
6	女性	40代	豊中店	その他	1	豊中店				
7	男性	40代	道頓堀店	カフェオレ		枚方店		1		
8	男性	50代	道頓堀店	紅茶				1		
9	男性	10代	枚方店	コーヒー	1					
10	女性	40代	梅田店	コーヒー	1					
11	女性	10代	梅田店	コーヒー	1					
12	女性	40代	梅田店	コーヒー	1					
13	女性	50代	枚方店	カフェオレ	1					
14	ジャン	20集の	横方屋のよ	な表を作成す	3					

次に梅田店を利用する人数をカウントする。こういうときには、条件に合うセルを数える「COUNTIF(カウントイフ)」という関数を使う。

COUNTA $\checkmark$ : $\times \checkmark f_x$			=COUNTIF(\$C\$2:\$C\$51,F2)										
	A	В	С	D	E	F	G	н	1	J			
1	性別	年齡	利用店舗	商品		利用店舗		2					
2	女性	30代	梅田店	コーヒー		梅田店	=COUNTI	F(\$C\$2:\$C	\$51,F2)				
3	男性	50代	吹田店	コーヒー		道領堀店		I					
4	男性	40代	梅田店	カフェオレ		心斎橋店							
5	男性	30代	心斎橋店	ココア		吹田店		1					
6	女性	40代	豊中店	その他		豊中店							
7	男性	40代	道頓堀店	カフェオレ		枚方店		1					
8	男性	50代	道頓堀店	紅茶									
9	男性	10代	枚方店	コーヒー									
10	女性	40代	梅田店	コーヒー									
11	女性	10代	梅田店	コーヒー									
12	女性	40代	梅田店	コーヒー	1								
13	女性	50代	枚方店	カフェオレ									
d2-	ゼルに	<sup>2</sup> ℃ou	NTTPESC\$2	2 \$C\$51,F2)נ	記	入する							

引数は2つ。1つ目が「範囲」で2つ目が「検索条件」だ。範囲は、利用店舗セルを指定する。コピーしてもずれないように「F4」 」キーを押して絶対参照にしておく。G2セルに「=COUNTIF(」と入力した後、「F4」キーを押したまま指定範囲をドラッグすれ ばよい。範囲指定後「,」を打ったら、次は検索条件を入力する。検索条件はF2、すなわち「梅田店」だ。この範囲の中で「梅 田店」と書いたセルがいくつあるかを自動で数える。



G	2	~ :	$\times \checkmark f_x$	=COUNTIF(\$C	\$2:	\$C\$51,F2)					
	A	В	С	D	Е	F	G	н	1	J	
1	性別	年齡	利用店舗	商品		利用店舗					
2	女性	30代	梅田店	コーヒー		梅田店	15				
3	男性	50代	吹田店	コーヒー		道頓堀店					
4	男性	40代	梅田店	カフェオレ		心斎橋店					
5	男性	30代	心斎橋店	ココア	1	吹田店					
6	女性	40代	豊中店	その他		豊中店					
7	男性	40代	道頓堀店	カフェオレ		枚方店					
8	男性	50代	道領堀店	紅茶							
9	男性	10代	枚方店	コーヒー	1						
10	女性	40代	梅田店	コーヒー							
11	女性	10代	梅田店	コーヒー							
12	女性	40代	梅田店	コーヒー							
13	女性	50代	枚方店	カフェオレ							
۲ <del>Ľ</del> r	花門 キ	20分押	予定確定さ	れ、梅田店を対	] 利月	する人数	が分かる				

	Α	В	С	D	Ε	F	G	н	1	J	
1	性別	年齡	利用店舗	商品		利用店舗					
2	女性	30代	梅田店	コーヒー		梅田店	15				
3	男性	50代	吹田店	コーヒー		道頓堀店	7				
4	男性	40代	梅田店	カフェオレ		心斎橋店	10				
5	男性	30代	心斎橋店	ココア		吹田店	6				
6	女性	40代	豊中店	その他		豊中店	7				
7	男性	40代	道頓堀店	カフェオレ		枚方店	5				
8	男性	50代	道頓堀店	紅茶							
9	男性	10代	枚方店	コーヒー							
10	女性	40代	梅田店	コーヒー	1						
11	女性	10代	梅田店	コーヒー							
12	女性	40代	梅田店	コーヒー	1						
13	女性	50代	枚方店	カフェオレ							
d20	が着下	39/4~	ドルを下ま	でドラッグする							

下までドラッグしてコピーすれば、6店舗の利用者数が一瞬で分かる。この数を合計すると当然50となる。

## 集計結果を基に棒グラフを作成する

ではこの表を基に、棒グラフを作成してみよう。今回は、平面の横棒グラフを作成するが、3Dや縦棒グラフでもよい。割合が 知りたいときは円グラフにすると分かりやすい。







グラフが作成できたが、Excelで横棒グラフを作成すると、表とグラフで項目の順番が逆になってしまう。これを修正しよう。







設定画面の「横軸との交点」で「最大項目」を選び、「軸位置」で「軸を反転する」のチェックをオンにする

グラフの項目名の部分を選択して右クリックし、「軸の書式設定」を選択する。そして、開く設定画面の「横軸との交点」で「最 大項目」を選び、「軸位置」で「軸を反転する」のチェックをオンにすると、表と同じ並び順になる。



別のシートに集計表を作りたい場合… 続きを読む